

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	道灌山学園保育福祉専門学校
設置者名	学校法人道灌山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
保育専門課程	幼稚園教員・保育士養成科第Ⅰ部(2年制)	夜・通信	1,185時間	80×2=160時間	
	幼稚園教員・保育士養成科第Ⅱ部(3年制)	夜・通信	1,185時間	45×3=135時間	
介護福祉専門課程	介護福祉士専攻科(1年制)	夜・通信	1,170時間	80×1=80時間	
保育専門課程	幼稚園教員養成科第Ⅱ部保育士専攻コース(3年制)	夜・通信	1,140時間	45×3=135時間	
(備考) 幼稚園教員養成科第Ⅱ部保育士専攻コースは令和3年度末に廃科					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校HPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa03_04.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	道灌山学園保育福祉専門学校
設置者名	学校法人道灌山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校 HP にて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa03_05.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元教育長	2017, 12, 22～ 2021, 12, 21	学校運営に対する 知見
非常勤	幼稚園園長	2017, 12, 22～ 2021, 12, 21	教育に対する専門 的な知見
非常勤	元小学校副校長	2017, 12, 22～ 2021, 12, 21	教育に対する専門 的な知見
非常勤	会社代表	2017, 12, 22～ 2021, 12, 21	学園全体の教育活 動及び学校運営へ の助言
非常勤	元公益社団法人事務局長	2017, 12, 22～ 2021, 12, 21	学園全体の教育活 動及び学校運営へ の助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	道灌山学園保育福祉専門学校
設置者名	学校法人道灌山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教員・保育士養成科の授業科目のカリキュラムは、教員養成機関指定基準及び保育士養成施設指定基準で規定された教科目を基に編成されている。指導大学のお茶の水大学の指導を受けて行っている。 ・介護福祉士専攻科の授業科目のカリキュラムは、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則に規定された教科目で編成されている。 <p>本校の開設科目の講義概要と時間割表については、校長及び学務・教務部により審議を行い、教員会にて決定している。</p> <p>・シラバス作成にあたっては、文部科学省が示す教職課程コアカリキュラムや厚生労働省が示す指定保育士養成施設の指定及び運営の基準の内容に沿って、各授業を担当する教員が作成し、教務部にて取りまとめ、確認を行っている。シラバスの作成(翌年度)時期は12月～1月で、様式は授業科目、授業形態、担当教員名、授業概要、到達目標、各授業時間の内容、参考資料、成績の評価方法等を記載した学内統一様式である。年度初めに学生、全教職員に配布される。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校 HP にて公開</p> <p>https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa03_02.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、単位の授与・評価、卒業・進級要件について規定している。(学則第10条 単位の授与)

課程修了の認定については、学則で規定された履修方法で必要な授業科目の単位を修得した者について、卒業判定会議を経て行っている。

成績評価は、試験、レポート、課題発表や平素の学習状況を総合判断して行っている。進級判定会議を行い、成績の評価が適正に行われていることを確認している。(学則第11条 卒業・進級の要件)

(参考)

(単位の授与)

第10条(1) 単位取得の認定は、当該科目の単位として定めた授業時数の5分の4以上出席し、かつ試験の成績、レポートの提出、課題の発表及び平素の学習状況を総合評価して単位を与える。

(2) 評価は、A・B・C・Dをもって表し、A・B・Cを合格とする。
(Aは80点以上、Bは79点～70点、Cは69点～60点、D59点以下とする。)

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学業成績は、授業時数の5分の4以上出席し、かつ試験の成績、レポートの提出、課題の発表及び平素の学習状況を総合判断して評価している。

評価は、A・B・C・Dをもって表し、A・B・Cを合格とする

(Aは80点以上、Bは79点～70点、Cは69点～60点、D59点以下。)

成績評価における客観的指標の算出方法は、履修した各科目の成績評価基準となる素点を合計し、履修した総科目数で割った値を基にして順位を算出する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学校HPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa03_03.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校は、教育基本法及び学校教育法、児童福祉法に従い幼児教育・乳児保育の正しい理論と高い技術を授け、愛情と情熱をもって幼児教育・乳児保育に貢献することのできる有為な幼稚園教諭及び保育士を養成し、並びに社会福祉士法及び介護福祉法に従い、高齢化社会において豊かな知識・技能を身に付けて豊かな人間味を備えた介護福祉士を養成することを目的とする。

卒業要件については「学則第3章 履修方法・課程修了認定及び卒業」に定めるところによる。また、卒業に必要な単位数及び時間数についても学則別表(1-1、1-2、3)に記載された通りである。上記内容を踏まえた上で、卒業判定会議を経て、卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校 HP にて公開

https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa03_01.pdf

様式第2号の4-2 ((4)財務・経営情報の公表 (専門学校))

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	道灌山学園保育福祉専門学校
設置者名	学校法人道灌山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月に最新情報をHPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa02_05.pdf
収支計算書又は損益計算書	毎年6月に最新情報をHPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa02_04.pdf
財産目録	毎年6月に最新情報をHPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa02_07.pdf
事業報告書	毎年6月に最新情報をHPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa02_01.pdf
監事による監査報告(書)	毎年6月に最新情報をHPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa02_06.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		保育専門課程	幼稚園教員・保育士 科第Ⅰ部（2年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,115 単位時間/単位	675 単位時間/単位	1,110 単位時間/単位	660 単位時間/単位	単位時間/単位	30 単位時間/単位
			2,475 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		180人	0人	12人	16人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 授業内においては各授業担当教員がアクティブラーニングを推進し、それに伴う教材・教具等の工夫、開発を行い、学生が主体的に学習できる環境構成に努めている。授業外においてはオフィスアワー等を設け、適宜指導を行っている。また、学校生活においてはクラス担任制を実施しており、個々の状況の把握に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
81人 (100%)	7人 (8.6%)	69人 (85.2%)	5人 (6.2%)
（主な就職、業界等） 幼稚園・保育園・認定子ども園、福祉施設等			
（就職指導内容） 個別相談、関係書類作成指導、作文・論文添削指導、専門試験、面接指導			

(主な学修成果 (資格・検定等) 幼稚園教諭2種免許状、保育士資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
181人	5人	2.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学校生活不適應等		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・副担任と相談や面接を行い修学上、家庭上の不安事項について随時受け入れて個別に相談を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	保育専門課程	幼稚園教員・保育士 科第Ⅱ部（3年制）	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,115 単位時間/単位	675 単位時間/単位	1,110 単位時間/単位	660 単位時間/単位	単位時間/単位	30 単位時間/単位
			2,475 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人	79人	0人	8人	13人	21人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内においては各授業担当教員がアクティブラーニングを推進し、それに伴う教材・教具等の工夫、開発を行い、学生が主体的に学習できる環境構成に努めている。授業外においてはオフィスアワー等を設け、適宜指導を行っている。また、学校生活においてはクラス担任制を実施しており、個々の状況の把握に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (0%)	23人 (74.2%)	8人 (25.8%)
（主な就職、業界等） 幼稚園・保育園・認定子ども園、福祉施設等			
（就職指導内容） 個別相談、関係書類作成指導、作文・論文添削指導、専門試験、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等） 幼稚園教諭2種免許状、保育士資格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	6人	6.2%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学校生活不適應等		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・副担任と相談や面接を行い修学上、家庭上の不安事項について随時受け入れて個別に相談を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	介護福祉専門課程	介護福祉専攻科 (1年制)					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,215 単位時間/単位	485 単位時間/単位	520 単位時間/単位	210 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,215 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	8人	0人	3人	10人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業内においては各授業担当教員がアクティブラーニングを推進し、それに伴う教材・教具等の工夫、開発を行い、学生が主体的に学習できる環境構成に努めている。授業外においてはオフィスアワー等を設け、適宜指導を行っている。また、学校生活においてはクラス担任制を実施しており、個々の状況の把握に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 幼稚園・保育園、介護老人福祉施設等			
(就職指導内容) 個別相談、関係書類作成指導、作文・論文添削指導、専門試験、面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 介護福祉士国家試験受験資格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・副担任と相談や面接を行い修学上、家庭上の不安事項について随時受け入れて個別に相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		保育専門課程	幼稚園教員養成科第Ⅱ部保育士専攻コース(3年制)				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,700 単位時間/単位	675 単位時間/単位	1,350 単位時間/単位	570 単位時間/単位	単位時間/単位	105 単位時間/単位
			2,700 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	1人	0人	2人	19人	21人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業内においては各授業担当教員がアクティブラーニングを推進し、それに伴う教材・教具等の工夫、開発を行い、学生が主体的に学習できる環境構成に努めている。授業外においてはオフィスアワー等を設け、適宜指導を行っている。また、学校生活においてはクラス担任制を実施しており、個々の状況の把握に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	1人 (50%)	1人 (50%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園			
(就職指導内容) 個別相談、関係書類作成指導、作文・論文添削指導、専門試験、面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士資格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・副担任と相談や面接を行い修学上、家庭上の不安事項について随時受け入れて個別に相談を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
幼稚園教員・保育士養成科第Ⅰ部(2年制)	220,000円	600,000円	240,000円	施設費
幼稚園教員・保育士養成科第Ⅱ部(3年制)	180,000円	440,000円	180,000円	施設費
介護福祉専攻科(1年制)	100,000円	580,000円	円	
幼稚園教員養成科第Ⅱ部保育士専攻コース(3年制)	50,000円	440,000円	60,000円	施設費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa02_02.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者として、教育関係者、教育に関し知見を有する者、同窓生など4名の委員により学校評価の委員を設置し「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき自己評価の評価結果について検討し、評価する。結果は報告書にまとめ、教職員間で共有し学校教育や学校運営に活用していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専修学校校長	2020.4.1～ 2022.3.31	教育関係者
幼稚園園長	2020.4.1～ 2022.3.31	教育に関し知見を有する者
保育園園長	2020.4.1～ 2022.3.31	教育に関し知見を有する者
本校同窓会会長	2020.4.1～ 2022.3.31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPにて公開 https://www.doukanyama.ac.jp/pdf/disclosure_reiwa02_03.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.doukanyama.ac.jp/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。